

環境学習

ニュース News



発行:茅ヶ崎市 環境部 環境政策課
電話:0467-82-1111
Eメール:kankyouseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

この環境学習ニュースは、子どもたちの環境意識の向上に向けて、学校教員の方々に役立てていただくことを目的に発行しています。

小中学校の環境への優良な取組紹介

市では、茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)の有効性を高めるため、年に1回外部監査を実施しています。今年は、文書監査26課かい、訪問監査4施設が対象となりました。毎年学校にも訪問を行っており、今年は西浜中学校、松林小学校に外部調査員が訪問し取組の確認等を行いました。多くの優良な取組が確認されましたので、お知らせします。日頃の取り組み等の参考にぜひお役立てください。

西浜中学校

■環境についての学習(ビオトープ・海岸の自然観察)の取り組み

1年生の環境学習の取り組みに、校内のビオトープと海岸での自然観察会が行われています。生徒達が自発的にビオトープの観察も行っています。全校生徒では海岸清掃の機会が設けられ、海が近い地域の特性を生かしながら身近な自然環境を学習する機会が設けられていました。

ビオトープの観察記録・自然観察会の写真

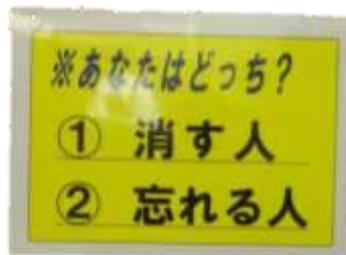


■省エネの取り組み

昨年度から各教室に空調が設置されています。リモコンは職員が管理を行い、一定のルールで運用しています。

移動教室時やトイレの照明の消し忘れが課題になっていましたが、工夫されたポスターを設置した事で消し忘れが減っています。

省エネを呼びかけるポスター



■エコキャップ回収啓発の取り組み

全校でペットボトルのキャップを回収しています。ペットボトルキャップを30個以上持ってきた場合、オリジナルの缶バッジと交換しています。缶バッジのデザインは生徒達からの公募で作成されており、缶バッジは好評となっています。缶バッジ効果もあり回収への普及効果が出ています。

エコ・キャップ 啓発缶バッジ



松林小学校

■全学年による米作りの取り組み

地域の田んぼを借りて、全学年で米作りを行っています。地域の方に教わりながら、粃種播きから、田植え、収穫と各学年で分担して行っています。収穫されたもち米は全校もちつき大会を開催し、約150人の地域・保護者の協力のもとに味わい、その後、稲作発表会で学習のまとめを行い、収穫の喜びを分かち合っています。また、脱穀を終えた藁は翌年のかかし作り等に有効活用されています。

■児童の取り組み

電気係や窓係を設け、児童が自主的に省エネ活動に取り組んでいます。空調が新たに設置された事で、「ドア閉め係」を作っています。

児童が掃除を頑張ったり、給食を食べきったりするとシールを配り、シールを10枚集めると表彰される仕組みがあります。教室内の環境や食品ロスを防ぐための意識づけの工夫が行われています。

各学級に、余ったプリント等をためておく箱を置いています。メモ紙や落書き用紙、ノートを忘れた時などに使えるようになっています。

米作りの取り組み



ピカピカ賞・からっぽ賞



お知らせ

今年も環境フェア（9月27日開催予定）で学校の取組を展示しますので、活動の記録の保管とご提供にご協力をお願いします。



環境学習支援サイト

「ちがさきエコスクール」をご活用ください。

ちがさきエコスクールでは、環境学習に役立つ支援ツールや、茅ヶ崎市の統計データ、出前授業、環境への取組事例などを掲載しています。

環境に関する授業をお考えの際は、ちがさきエコスクールをご活用ください。

ちがさきエコスクール

検索

